

自然と暮らす

軒の下にある生活

1年を通して温暖なインドネシアの島々。1日の大半を過ごすのは、村内や畑、軒下の半外部空間である。

家の中は食事や儀式的為の炉と、裸電球かオイルランプがあるのみで洞穴のようにうす暗い。それと対照的に、外部は赤道近くの強い日差しが降り注ぎ、照り返しも非常に眩しい。よって、深い軒や底は日中の活動に欠かせないのだ。

村々では、そんな軒下に広がる人々の生活とその知恵を目の当たりにできる。本来はうす暗い内部が女性の空間であり、外部に近い軒下は男性の接客や集会の空間である。しかし今やそこには家族の写真、枕や布団、噛みタバコなどの嗜好品をはじめとする日用品がおかれ、各地固有の慣習を残しながらもあらゆる人を受け入れる、日中の団欒と休息の場となっている。



左 布団が敷かれた入口のテラス。グバンヤシの日よけは軒下に渡された棒にかかっており、スライド式。(ライナイン村, 西ティモール, インドネシア)

右 高低差のある村の壇上にある穀倉。倉の下を床を延長し、チガヤの庇を増設し、織物を織る。(レンビタン村, ロンボック島, インドネシア, ササック人)

1. 入口のみ欠いた 1m 高の軒先。5 年周期で葺き替えるチガヤは 120 人がかりで 1 日で葺いてしまう。
(コアナラ村, フローレス島, インドネシア, リオ人)
2. 半分に割った竹を互い違いに重ねた庇。日中はこの下で観光客用の織物を作成・販売する。
(ベナ村, フローレス島, インドネシア, ンガダ人)
3. テラス空間の床板に点在する穴。他の島にも見られるというのは、軒の外へ出ずして噛みタバコを吐き出すための穴。
(ラン村, 西ティモール, インドネシア)
4. 尾根伝いに家々が連なる村では、斜面地に拡張された軒下空間で食事の支度をする。
(デリ・カンバジャワ村, スンバ島, インドネシア)
5. 向かい合う住居と米倉の下で大人数で食事。
(ブダワ村, バリ島, インドネシア)
6. 本来男性の空間である住居化した穀倉の下でテラス。4 本柱と腰壁に囲まれた中心には男性用の炉があり、その周りでは赤ん坊をあやしたり昼寝や接客をする。
(タクバラ村, アロール島, インドネシア, アプイ人)
7. 住居のサイドに設けられた勝手口。この軒下で食器を片づけたり洗濯物を干す。
(ライナイン村, 西ティモール, インドネシア)
8. グバンヤシの葉を編んだ日よけが掛かる軒下。曲りの多い海岸の木を柱に使用する慣習がある。
(ライナイン村, 西ティモール, インドネシア)
9. 集会場として使われる住居のテラスは開放的。軒下の化粧垂木には植民地時代にやってきた日本兵やポルトガル兵などの顔が彫られている。
(カマナサ村, 西ティモール, インドネシア)



自然材料の七変化を 楽しむ生活

BAMBU 竹

インドネシアなどの熱帯に生息する竹は地下茎が横に広がることなく、範囲 3m ほどの株立ち状となる。世界に 1500 種ほどあるといわれるうちの約160種がインドネシアに生息する。1日で平均 3~10 cm垂直方向に伸び、約3年で建材として使用できるまでに成長する。加工が容易で、割る、裂く、潰して開く、編むなどして身の回りのあらゆるものを製作できる。



インドネシアで最も大型の種 Bambu Petung

AREN サトウヤシ

ヤシ科の植物で羽状の葉を持ち、幹は高さ 15m~25m 以上、樹幹は直径 65cm 近くなる。外側の樹皮を構成する繊維は耐久性と伸縮性に富み、縄や箒、屋根葺き材などに重宝される。樹幹は楽器や家具、建築の構造材に使用される。ヤシ科の植物の中でもサトウヤシの樹液でできたパームシュガーが一番美味しいと言われる。



砂糖用の樹液を取りにサトウヤシの木に登る

LONTAR ロンタルヤシ

葉先が放射状に広がった幅 2 m にもなる掌状の葉を持つ。これは屋根に葺くだけでなく、硬く扇状である形態を利用して様々な日用品や楽器に利用される。葉柄は裂いて伸縮性のある縄として使い、樹幹は建材になる。雌株から採れるココナッツよりも小ぶりの果実には、食用の果肉が入っている。樹液からはヤシ酒が作られる。



掌状に広がる葉と果実

KELAPA ココヤシ

主に海沿いに生息し、高さ 30m ほどになる幹は構造材にも十分利用できるとされている。若い葉は供物等に多用される。若い実からとれるココナッツウォーターはそのまま飲むことのできる貴重な飲料で、熟した実からはココナッツミルクやオイルを作ることができる。繊維状のココナッツの皮は縄や玄関マット、燃料などに使用できる。内側の殻は食器やスプーンになる。



海岸沿いに広がるココヤシ畑

ROTAN トウ

約600種のヤシ科トウ連の植物の総称であり、ほとんどがつの植物である。直径2~5cmの太さの幹を持ち、他の植物に絡みつくためのトゲをもつ種も多い。栽培が容易であり、成長スピードも早く、全長100mを超えることもある。木材よりも軽く伸縮性に富むが、十分に強度があるため、主に生活用品や家具の材料として使用される。



一見竹のようだが内部に繊維が詰まっているロタンの幹

RUMBIA サゴヤシ

樹幹から食用のデンプンがとれるヤシ目、ソテツ目の植物をいう。湿地、低地の川沿いに多く、幹は高さ10m、直径 60cm 以上になる。ニューギニア島など捕獵採集民の地域ではサゴデンプンを主食とする文化がある。果実は泥水や海水につけた後食用にでき、切り倒した後の幹に棲むヤシオオサゾウムシの幼虫は栄養価の高い食料となる。若木の古くなった葉は屋根葺き材に適する。



切り倒されたサゴヤシの幹

TANAH 土

最も広い範囲で利用される材料であり、その土地によって色やテクスチャーが大きく異なる。粘土に水と灰、牛糞を加えて練ったものは 100 年以上もつ土間や土壁となる。また石垣や住居の基礎を築く際には粘土を練りこんで石同士を繋ぐ。もちろんレンガや瓦の材料でもある。



土壁や土間を作るため土を踏んでこねる

PLANT 植物

DAILY NECESSITIES 日用品



バリ語でチャピル・ルナスと呼ばれる傘。5 年以上燻された竹材を使用する。



樹幹の繊維イジュックを葺いた屋根(フローレス島ウェレボ村)



塩田の塩を入れる籠



1枚の葉から編み上げた卵入れ



ロタンの幹の皮を使ったおろし板

ARCHITECTURE 建築



寺院の屋根の隅 (バリ島バユン・グデ村)



樹幹の繊維イジュックを葺いた屋根(フローレス島ウェレボ村)



ロンタルヤシの葉で葺いた屋根



ココヤシの樹幹を用いた貫



球技セバタクローに使用するボールの編みかけ



屋根葺き材のパネル化された葉



バリ島の土壁

FOOD 食物



茹でた筍に唐辛子とココナッツおろしをのせた料理(バリ島タンパラン村)



樹液を4時間煮詰めてできたパームシュガー



果実の中のシワランフルーツ



あらゆる料理に使用されるココナッツのおろし



エンティル(ロタンを使った料理)



ブプールサグ(サゴデンプンとココナッツミルクを使ったお汁粉)



魚の土釜焼き